

## 5. PAZ内の全面緊急事態 における対応

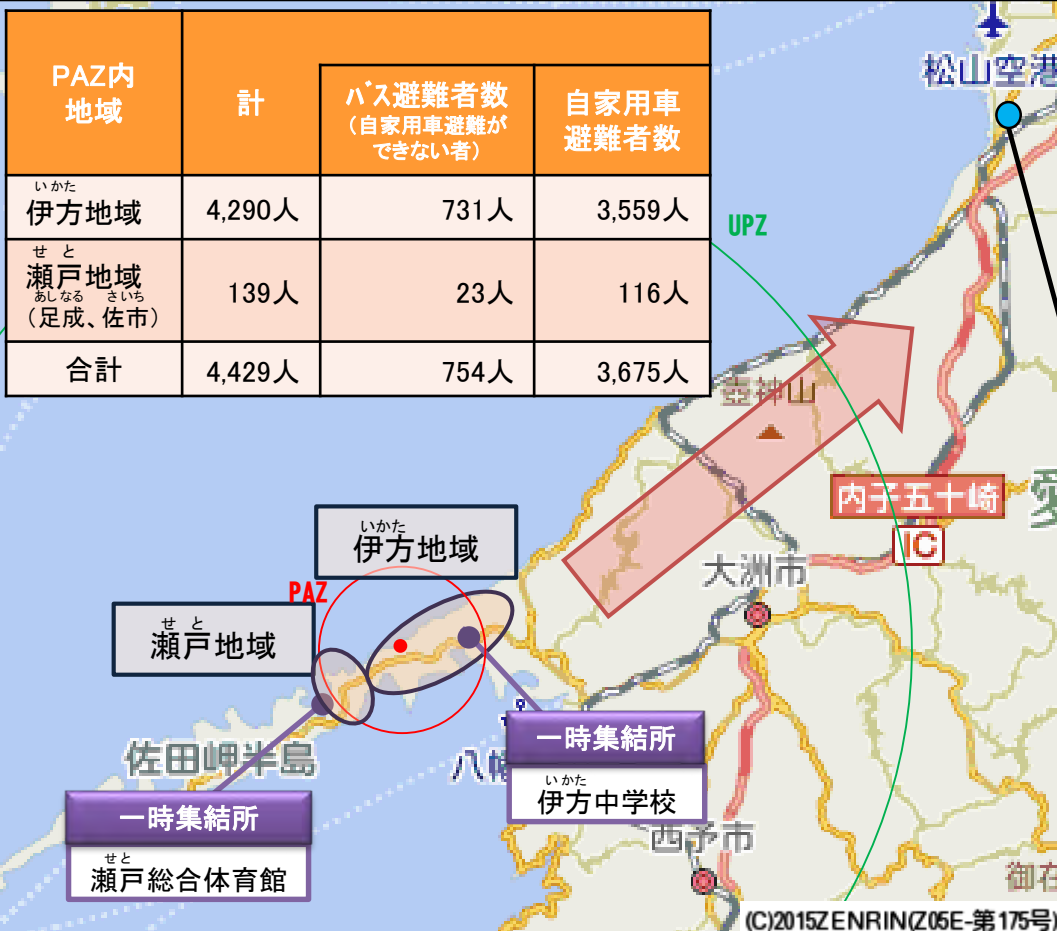
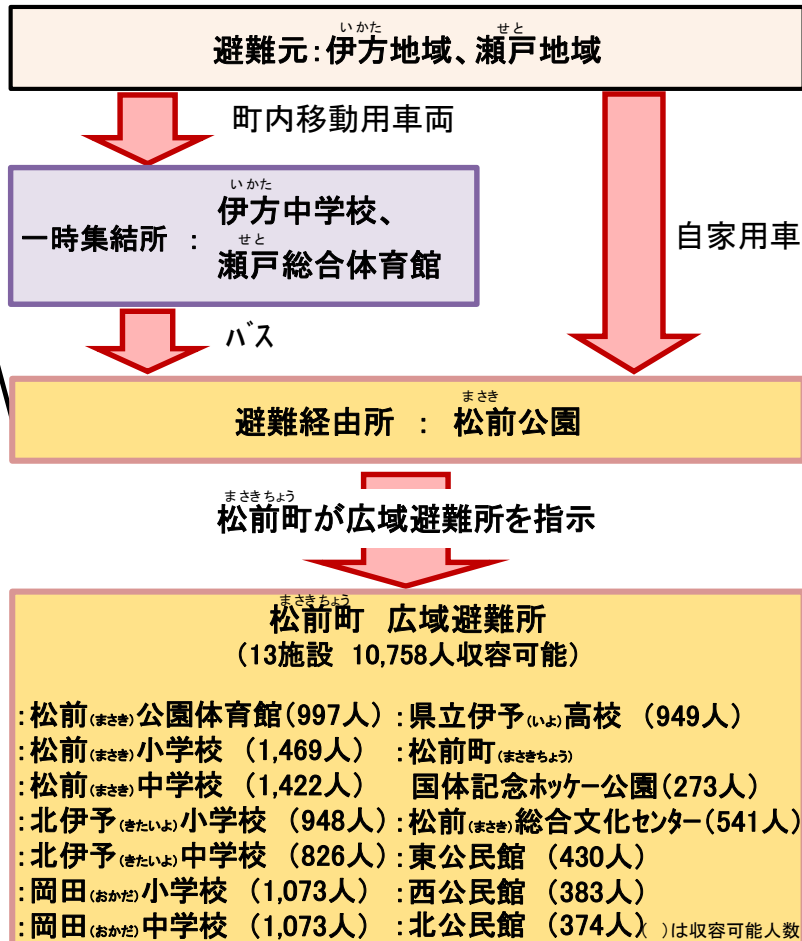
### ＜対応のポイント＞

1. 自家用車による避難ができない住民の移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先施設の受入れ体制を整えること。
3. 安定ヨウ素剤の服用等を指示すること。また、安定ヨウ素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。

# PAZ内の住民の避難先及び避難住民数

- PAZ内(伊方地域、瀬戸地域(佐市、足成))の住民については、自家用車で避難できる住民は、自家用車により松前町の避難経路所(松前公園)に移動後、松前町の指示する広域避難所に避難。
- 自家用車での避難が困難な住民は、町又は県が配車した町内移動用車両で一時集結所(伊方中学校、瀬戸総合体育館)に集合し、避難経路所(松前公園)へバスで移動のうえ、松前町の指示する広域避難所に避難。
- 避難先については、普段から避難計画に関する広報や訓練等を通じて住民に周知。

PAZ内地域	計	バス避難者数 (自家用車避難ができない者)	自家用車避難者数
伊方地域	4,290人	731人	3,559人
瀬戸地域 (足成、佐市)	139人	23人	116人
合計	4,429人	754人	3,675人



※1 避難対象者数は、PAZ内住民の合計数から割り出した数字であり、若干の増減がある。  
 ※2 自然災害等により松前町の避難先が使用できない場合に備え、第2避難先候補として今治市と上島町を設定

# PAZ内の観光客及び民間企業の従業員の数

➤ PAZ内の観光施設における1日当たりの入場見込み人数は約940人、民間企業(従業員30人以上)は6社(約220人)存在。

## PAZ内の観光施設の状況

地域名	施設数	入場見込人数
<small>いかた</small> 伊方地域	7	941人
<small>せと あしなる まいち</small> 瀬戸地域(足成、佐市)	0	0人
<b>合計(7施設)</b>		<b>941人</b>

※入場見込人数については、入場ピーク時(8月)における1日当たりの入場者数を基に算定

観光施設における入場見込人数:平成29年実績

## PAZ内の民間企業(従業員30人以上)の状況(詳細)

地域名	民間企業名	従業員数
<small>いかた</small> 伊方地域	西宇和(農協)伊方支店	49人
	伊方建設(有)	32人
	(株)ヒサン水産伊方工場	32人
	(株)みさき果樹園	36人
	(有)町見緑化	33人
	伊方サービス(株)	33人
<small>せと あしなる まいち</small> 瀬戸地域(足成、佐市)	該当なし	0人
<b>合計(6社)</b>		<b>215人</b>

※従業員については、通勤に使用する自家用車、バスで避難

企業名及び従業員数:総務省・経済産業省『平成24年経済センサスー活動調査』の調査票情報を基に現地確認を行った上で独自集計したもの

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、合計約850人分:バス20台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知(施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅)。

	想定対象人数※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	754人	17台	一時集結所にて乗車【資料P38】 1台当り46人程度の乗車を想定
観光施設から避難する一時滞在者	95人	3台	バス1台当り46人程度の乗車を想定 1日あたりの観光施設の入場見込み人数941人のうち、約9割が自家用車や観光バスで来場する想定で、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P39】
<b>合計</b>	<b>849人</b>	<b>20台</b>	

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者のために、伊方町いかたちょうが保有する車両のほか、愛媛県と愛媛県バス協会の協定及び覚書に基づき、バス協会が配備する車両により、必要車両台数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		20台	
(B) 確保車両台数		計20台以上	
確保先	<small>いかたちょう</small> 伊方町	4台程度	<small>いかたちょう</small> 伊方町が保有する車両15台(合計180人)の車両を使用
	愛媛県のPAZ・UPZ内市町のバス会社	16台以上	愛媛県のPAZ・UPZ内市町のバス会社が保有する車両総数267台

※不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じて支援を実施

# 自家用車で避難できない住民の数及び一時集結所への経路等

- 伊方町による全戸訪問調査の結果、PAZ内の自家用車で避難できない住民は合計約750人。
- 自家用車で松前町の避難経路所(松前公園)へ避難が困難な住民は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は県が配車した町内移動用車両で、各一時集結所(伊方中学校、瀬戸総合体育館)へ移動。



各集会所の配車経路 ※( )は自家用車で避難できない住民数			一時集結所
ルート1	大型バス: ①おおはま集会所 ⇒ ②なかのほま集会所 ⇒ ③にたのはま集会所	(95人)	いかた 伊方中学校 (731人)
ルート2	大型バス: ①とよのうら豊之浦集会所 ⇒ ②しんかわ新川会館 ⇒ ③かわながた川永田コミュニティセンター ⇒ ④なかのうら中浦集会所	(161人)	
ルート3	中型バス: ①いかたごし伊方越集会所 ⇒ ②かめうら亀浦集会所	(32人)	
ルート4	大型バス: ①いたのうら田之浦集会所 ⇒ ②ふるやしき古屋敷集会所 ⇒ ③ふたみ二見分館 ⇒ ④ふたみ二見集会所 ⇒ ⑤にしくほ西久保集会所 ⇒ ⑥すかひら須賀集会所 ⇒ ⑦あかた畑コミュニティセンター ⇒ ⑧むかい向集会所 ⇒ ⑨おみ奥集会所	(201人)	
ルート5	中型バス: ①とりづ鳥津集会所 ⇒ ②おおなる大成集会所	(44人)	
	徒歩: 伊方中学校に徒歩で移動する住民(河内、湊浦一・二、小中浦)	(198人)	
各集会所の配車経路 ※( )は自家用車で避難できない住民数			一時集結所
ルート6	中型バス: ①あしなる足成集会所 ⇒ ②さいち佐市集会所 ⇒ ③たこら高浦地区区長宅 ※1	(23人)	せと 瀬戸総合体育館 (23人)

※1 高浦(たこら)地区区長宅は予防避難エリアに位置するため、上表の人数の積算対象外  
 ※2 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値 ※3 ルート6はP61、P62の瀬戸地域ルート1と同じ